

平成16年度の事業計画（案）

【主催事業】

- 第7回 セと川フォーラム 開催
11月（予定）焼津市
焼津総合グランドから瀬戸川河口
まで川辺散策
- セと川 なるほど講座 年4回
交流会と同時開催
（7月、9月、12月、平成16年2月）
- 会誌発行 年4回 瀬戸川通信

- （5月、9月、11月、平成16年3月）
【ネットワーク団体事業】
- セと川 里の楽校 夏休み子供キャンプ
8月5～8日 藤枝市助宗～滝沢
小学生 56人 募集予定
あげんだい 8月7日
 - 水上の里 田んぼビオトープ
田植え 5月末予定
 - 第4回 しずおか川自慢大賞
静岡グランシップ 平成17年1月 予定

第1回 中部みずがき交流会

中部5県の子どもたちが交流



平成15年の3月に滋賀県で行われた「世界子ども水フォーラム」を単なるイベントに終わらせるのではなく、継続的に子供たちの流域交流、地域交流等の展開を図るため、中部5県（静岡、愛知、岐阜、三重、長野県）の水辺で活動する子どもたちが平成16年5月8日岐阜県川島町の自然共生センターに集合しました。

瀬戸川フォーラムのメンバー団体でもある「しずおか流域ネットワーク」が事務局を勤め、「（独）自然共生研究センター」の協力を得て開催されました。

静岡県からは、大井川流域ネットワークの「大井川みずがきネットワーク（島田）」と「静岡みずがき倶楽部」、「富士市立今泉小学校（田宿川）」が参加しました。

各県から集まった子どもたち56人が8つのグループに分かれ、しずおか流域ネットワークを中心とした16名のリーダーがファシリテーターとなって活動しました。

午前中は、グループごとに理想の川をつくるアイデアを話し合い、マップをイラスト付きで紙に描いて、発表しました。みんながつくったマップはつなげると大きな河川マップになって、みんなの願いが集まり子どもたちの気持ちが一緒になりました。



みんなで語り合い川のアイデアマップ作成

協賛各社

- 黒川医院 菅ヶ谷内科医院
- 青島歯科医院 (株) 松浦恒産
- 岡歯科医院 小柳津久男事務所
- (有) 桑原モータース
- 佐野設計工房一級建築事務所
- 服部歯科医院音羽町診療所
- (株) エクノスワタナベ
- (株) 山田組 大鐘測量設計

瀬戸川フォーラム ネットワーク団体

しずおか流域ネットワーク/志太自然ネットワーク
(社) 藤枝青年会議所/森林組合あおいがわ/静岡県島田土木事務所
瀬戸川 朝比奈川非出資漁業協同組合/ふるさと建設の会
大井川流域ネットワーク/水土里ネット大井川/志太エコリエイト

瀬戸川フォーラムのHPもご覧ください。http://www.ryuikinet.gr.jp/setogawa/

瀬戸川通信 編集責任者 大井川流域ネットワーク 小田 稔彦
島田市中央町31-10 TEL 0547-36-0706

瀬戸川通信 第15号

発行 瀬戸川フォーラム 平成16年 5月19日



瀬戸川 元井戸 エコアップ活動

瀬戸川フォーラム 2003年度 活動報告

瀬戸川フォーラムは、1997年に本格的な活動を初めてから7年が経過しました。瀬戸川流域を一つの地域単位と考え、流域内で活動する様々な団体との情報交換や協力事業、総合学習支援、行政との協働での取り組みを行ってきました。今回の瀬戸川

通信では2003年度の瀬戸川フォーラムの活動内容を振り返り、さらに瀬戸川の育んだ自然と文化を再発見するための良い機会となるようにと活動報告を掲載しました。

5月 セと川 なるほど講座 第5回「ゴミはどこにいくの」



出水による漂着物対策調整会議（藤枝市、静岡県島田土木事務所）の主催する河川統一美化運動に「なるほど講座」として焼津漁協さんの協力を得て美化に参加してくれた中学生に環境学習を行いました。

6月 ふるさと体験学習 田んぼビオトープ 水上の里

休耕田の活用と自然体験学習の場づくり（通称への字山下の田んぼ）として恒例となった水上の里で田んぼの学校を行いました。主催は志太エコリエイト+水土里ネット大井川（瀬戸川フォーラム会員）で今年は大井川用水の学習と田植えで水上の子どもたちと市内のボーイスカウトの参加で地元の農家のおじさんたちの指導のもとに行われました。子供たちは泥まみれになって大はしゃぎでした。

7月 セと川 なるほど講座 第6回 弘法様の淵で魚捕りと水辺散策



(社) 法人会と共催で「夏休み親子生き物見つけ隊」を開催しました。親子80名が藤枝市赤坂橋に集合して、下流の弘法淵から助宗橋までの

水辺散策（民話、魚捕り、木登り、石磨き、笛づくり、瀬戸川水族館、水遊び、道草遊び）を行いました。



8月 せと川里の楽校キャンプ 台風襲来 露天風呂

NPO法人里の楽校（協力団体：がんまめファミリー、空耳子ども会、瀬戸川フォーラムほか）は、「せと川里の楽校夏休み子どもキャンプ2003 お不動様のいかり（命のつながり）」を8月7日～10日までの4日間、藤枝市稲葉、滝沢地区で小学生64名、スタッフ18名、学生リーダー約46名、ボランティア20名の総勢156名を集めて行われました。今年は、台風の影響を受けキャンプサイトから避難せざるを得ませんでした。しかし、このことは子どもたちにとって川の洪水の脅威や集団活動（雨天により部屋でのプログラム）など貴重な体験や子ども同士の



浄化装置づくり
キャンプで川を汚さない



交流が進んだことでしょう。

国土交通省の職員の方もお手伝いしてもらって準備した露天風呂も増水により、あまり使われずに水没してしまいました。（どんね〜ん）定番のあげんたい、リバートレッキングも中止となってしまいました。



瀬戸川クリーン キャンプ地の清掃

8月 なるほど講座 第7回 昆虫を探そう会



夏休みも終わりに近い8月24日（日曜日）蓮華寺池公園でせと川なるほど講座を開催致しました。今回は、「昆虫探そう会」と名打ち、瀬戸川フォーラムと志太自然ネットワークの共催で昆虫

を見たり、採ったり、勉強したり、する会を行いました。当日は、8月中旬まで天候不順が続いたため子供たちが外に遊びに行っていないためか、小学生32名、大人21名が集まりました。みな手に手にタモ網や虫かごを持ち、にこにこしながら暑いなかを集合しました。

瀬戸川フォーラムの目的

1. 流域の自然の保全と文化の振興を図る。
2. 流域を中心に活動する市民の交流をすすめる、流域の望ましい姿を考える。
3. 子供たちの健全な成長にとって重要なふるさとの自然や文化に触れる環境や機会を設ける。

10月 あさひな川 野鳥観察 焼津市立豊田中 総合学習支援



焼津市立豊田中の総合学習支援として瀬戸川フォーラム会員である志太自然ネットワークの新井さんによる野鳥観察を岡部町の巨石の森から村志母橋までの間で朝比奈川沿いで行いました。子どもたちは初めての野鳥観察ということで期待に胸一杯でした。当日は、天候に恵まれ猛禽類のチョウゲンボウや川の宝石と呼ばれる「カワセミ」も見つけることができ学生は感激していました。

11月 第6回 瀬戸川フォーラム 藤枝市(勝草橋から藤の瀬会館)

11月22日（土）に「せと川まるごと見つめ隊（心なごむふるさとの川を楽しむ）」と題して「せと川フォーラム2003」（第6回）を開催しました。

今回のフォーラムは、水辺の散策をメインとして勝草橋から藤の瀬会館までの間を3つの区間に分け、「まるごと見つめ隊」として自然体験コース（新井先生）、野仏拝み隊コース（南條先生）、川里遊びコース（山田先生）の3つのコースをつくりそれぞれガイド（インタープリター）から川の楽しさを参加者（親子）に伝えました。

途中の宮原にある稲葉ふるさと会館では瀬戸川中流域で有機農業を営み、ふるさとの自然環境を守る活動を積極的に行っているがんまめファミリー倶楽部やいなばを守る女性ネットワークの協力を得て、手打ち

そばや染飯などの昼食をせと川フォーラム恒例の「エコマネー」による善意の交換が行われました。



今回のフォーラムは、到着地（瀬戸ノ谷の藤の瀬会館）で行われていた「せとやまるかじり」に合流して、「お餅つきやネーチャークラフト」づくりなどの出展も行い、「エコマネー」による活発な団体交流も行われました。



川自慢大賞 大井川みずがきネットワーク（島田市）



「きつねの膏薬」の紙芝居



宿場町を支えた元井戸のエコアツプ



勝草橋から金吹橋周辺の瀬戸川散策



稲葉ふるさと会館 昼食（手打ちそば）



野仏拝み隊（中山のお地蔵さん）



参加記念のカンバッチづくり



お餅つき（まるかじり参加）



せとや まるかじり会場で打ち上げ

1月 川自慢大賞(静岡グランシップ)

平成16年1月17日に静岡のグランシップにおいて県内の様々な川での活動団体や個人による川自慢の発表交流会（第3回）が実行委員会（瀬戸川フォーラム参加）の主催により行われました。

○川自慢大賞 大井川みずがきネットワーク 「大井川みずがきネットワークの活動」（島田市）子どもたちによる流域ネットワーク活動

○選考委員特別賞

静岡市立麻機小学校3、4年生「巴川大図鑑を作ろう 麻機タウンわくわくチャンネル」/富士市立今泉小学校「ほくらの自慢 田宿川」